

第一回 「日本栄養改善学会若手の会」世話人会 議事録

2005 年 10 月 5 日（水）

文責：丸山

日時：平成 17 年 9 月 16 日（金） 15 時～17 時

場所：日本栄養改善学会事務局

出席者：池本真二、赤堀摩弥、市育代、牛込恵子、影山なお子、野口孝則、丸山智美（7 名）

1、世話人会のメンバー紹介&自己紹介

池本真二先生（お茶の水女子大学 助教授・臨床栄養学研究室）

赤堀摩弥さん（静岡県熱海健康福祉センター・行政）

市 育代先生（奈良女子大学生生活環境学部 助手）

牛込恵子 （昭和女子大学大学院 博士後期課程 1 年）

影山なお子さん（パルマローザ主催）

野口孝則先生（神戸学院大学栄養学部 講師）

丸山智美先生（金城学院大学生生活環境学部 助教授）

中村和照さん（石川県南加賀保健福祉センター・行政）

森 智美さん（シダックス株式会社 名古屋通信病院）

の計 9 名で進める。

2、「日本栄養改善学会若手の会」の主旨

○目的&PR ポイント→「科学的根拠に基づいた栄養実践活動」

（EBM～研究に生かせるように考える方向に）

- ・分野としては→世代間の交流を重視したいので、限定しない。
- ・範囲→全国的な組織にしていく。（地域の単発組織ではなく、幅広い組織にしていく）
栄養改善学会の組織にしていく。
- ・年齢→若手というくらいなので、上限を決める必要性がある。
Ex.) 栄養食糧学会は、40 歳以下にしている。（40 歳ラインが妥当では？）
⇒結論：人材が集まるまでは年齢の上限は決めず、ある程度起動に乗ってから、
年齢の定義を決定する方向にする。
- ・会費→年会費：正会員 2000 円、学生会員 1000 円を予定
- ・新たに加えたいこと（提案・意見）
 - ①気軽に入れる。

- ②透明感のあるクリアな団体。
- ③「日本栄養改善学会」に入会していない人でも入会できる。
- ④栄養士に限定しなく、他の職種との連携をもてる団体にする。
- ⑤世代間（縦）のつながりを意識したい。（コミュニケーションを図る）
- ⑥院生と現場との集いをもちたい。（院生も気軽に入会してほしい）

3、役員分担

代表：丸山 智美

副代表：野口 孝則

事業：赤堀 摩弥、牛込 恵子（2名）＋欠席者1名

広報：影山なお子、市 育代（2名）＋欠席者1名

書記：特になし（持ち回りで・・・）

会計：市 育代、北森 一哉（金城学院大学助手）

HP：野口 孝則

〔係りの役割〕

総務：会員名簿の管理など

事業：夏季セミナー、研究会などの運営・企画

広報：学会誌や雑誌におけるPR活動、記事掲載など

書記：世話人会の議事録作成

HP：HPの立ち上げ、作成

4、決定事項

- ①「日本栄養改善学会若手の会」の事務局は、会の代表である丸山先生の研究室に置くこととする。

→〒465-8521 名古屋市守山区大森 2-1723

金城学院大学 生活環境学部 食環境栄養学科 丸山研究室内

日本栄養改善学会若手の会 世話人代表：丸山 智美

TEL:052-798-0180 (ex. 351) FAX: 052-798-0370 E-mail:maruyama@kinjo-u.ac.jp

- ②今年度の第52回栄養改善学会学術総会で、「若手の会」発足を報告し、学会会場で「若手の会」のチラシを置かせていただく。

（その際、入会案内も加え、FAXで事務局へ提出するようにする）

（文章の作成は池本先生、野口先生にお任せする）

- ③世話人会の人数を増やす。（近隣に声をかける）